



## 『第1学期終業式』

校長 福田 雅子

平成31年度1学期が終わりました。今年度は5月から気持ちも新たに新元号令和の時代を迎えましたが、今回はその学期末の行事の中から2つをお伝えします。

まず、野球部の第101回全国高等学校野球選手権長崎大会について。既にご存知の通り、7月11日(木)令和元年度開幕試合。当日は予想以上の晴天に恵まれ、開会式では精悍で堂々とした行進、そしてその後は、ハラハラドキドキの1時間59分でした。「緊張している」と試合前に話していた11名でしたが、立ち上がりから普段通りの落ち着いたプレーが出来ていましたし、エラーゼロだったことからわかるように、完璧な守備でした。最後まで全員が集中力を切らさない引き締まったゲームでした。試合結果は残念だったけれども、それぞれが準備を尽くして力を出し切れたと胸を張って言えるならば、この後11名は次の自分の一歩をしっかりと踏み出せると私は思っています。特に、3年生は、楽しかったと言っていた春のメンバーと最後にこうしてまた試合ができたことが、これからの進路実現までのスケジュールを仲間全員で乗り切っていくという絆を一層固いものにしたと感じています。当日、保護者は勿論、小値賀にゆかりのある方々、6年前の小値賀中学校・北松西高校の校長先生をはじめとする旧職員も応援に駆けつけてくださいました。野球部は人数が少なくなり、この後休部となりますが、今回の試合も含めこれまでの応援に心から感謝申し上げたいと思います。

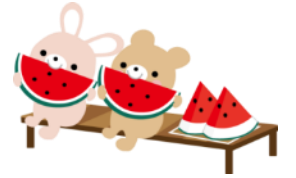
もう一つ、「心に響く人生の達人セミナー」についてです。今年度は北松西高校第44回生、筒井博司氏を講師にお招きして、「国際協力から見た日本そして小値賀～小値賀が世界へ背中を押してくれたワケ～」という演題で講演会を実施しました。急なお知らせにも関わらず、本校創立記念日7月8日(月)当日は朝から多くの地域の方が足を運んでくださいました。ありがとうございました。お礼申し上げます。

- ① 人は変わる。なりたい自分を探していこう。
- ② 職業の選択としてのご紹介。こういう生き方もあるんだ!
- ③ 「七転び八起き」の精神。失敗したらまたやり直したらいい。

という大きく3つのテーマについての講演でした。小さいころは内向的で大人しかった筒井さんが成長期の中学生の頃、足が速くなって少しずつ頭角を現し、クラスの総務委員を任されたり小さな成功体験が積み重なって自信が出てきたこと、体育祭の応援団長の経験や野球部キャプテンの経験が人との関わり方の基礎を築き変わってきたことは今の高校生の皆さんにとっても、頷ける内容だったと思います。受験でやりきった感が持てなかったという高校時代の反省から、大学で猛勉強なされた筒井さんですが、国際協力を仕事にしようと決意なされたのは大学2年の時だということでした。課題がものすごく多いとか、講義に遅刻すると入室できないといったアメリカの大学院の厳しさはありますが、それでも筒井さんの大学・大学院での勉強ぶりは“求めて学ぶ”そのものです。中々できるものではありません。意志の強さを感じました。英語での議論や、英語の次の主要言語としてスペイン語をマスターするためメキシコの大学で集中講義を受講するなど様々な経験を重ね、またネットワークが広がり、度胸を付けたとも仰っておられました。最後に「国際協力で仕事をしている人たちには確

## 8月の行事予定

日	曜	行事予定
1日	木	夏季学習会(～7日)
9日	金	平和学習
10日	土	陸上地区新人大会(～11日)
16日	金	後期夏季補習(～22日)
17日	土	3年校外模試(～18日)
19日	月	県立大学看護出張講義
23日	金	授業開始式、課題確認テスト(26日)、専門委員選出
24日	土	3年小論模試、ソフトテニス島原選手権大会(～25日)
27日	火	中高合同体育祭合同練習(6・7校時)～30日



## — お知らせ —

- **中高合同体育祭** 9月8日(日) [予備日9月10日(火)]  
 皆様のご来場をお待ちしております。



## 救急法講習会

7月4日(木)に佐世保西消防署小値賀出張所の消防署員の方をお招きし、救急法の講習会を実施しました。不慮の事故に備え心肺蘇生(AEDを含む)を中心とした正しい応急手当の知識習得することができました。



かに外国に住んだ経験があつて語学が得意な人もいるけれども、私はここ小値賀で小中高と育ち、皆と全く同じだし特別なことはありません。小値賀に住んでいるということが特別であり、恵まれた環境です。農業や漁業、スポーツや国会議員といった具合にいろいろな仕事があるけれど全ては自分次第です。失敗から学んでその学びを繰り返していったらいい。どんどんチャレンジすることが大切です。」と高校生にメッセージをくださいました。

例えば中学生のときからなりたい職業が決まっていた、初志貫徹高校時代にその進路に向けて一直線に頑張つて就職する、資格をとるといった選択もあります。一方で大学在学中悩みもがきながら将来進むべき道を決めて、更に学びを進めた筒井さんの進路選択。“そのためには勿論周りのサポートが必要です”と筒井さんは仰っておられましたが、いずれにしても、自分と向き合い自分で考え、そして決めたからには限界を自分で決めずがむしゃらに、とことん挑戦することが必要です。ドラマや音楽が筒井さんの最初のきっかけだったように、生徒の皆さんの10年後、20年後の未来のヒントが、身近なすぐそこにあるのかもしれない。自分に何ができるのか、どんな自分になりたいのか、何度でも自問して求めて学ぶ高校生活であってほしいと期待します。

白い塩の砂漠や天空の都市マチュピチュ等々、筒井さんがこれまで旅した街のスライドは某TV番組「〇〇ふしぎ発見!」のようで、今はTVの画質も申し分なく良いわけで映像で味わうこともできますが、実際に自分の目で見てみたくなりました。「高校でやっておくべき英語の学習について」「現地の食べ物について」「仕事のやりがいについて」・・・と生徒たちの質問に必ず「非常に良い質問ですね。」と言葉を添えて応じてくださる筒井さんの人柄と、豊かで強い心溢れる講演でした。

## 生徒会選挙

6月20日(木)に生徒会役員選挙が実施されました。文化委員長による選挙に対する心構え、立候補者の立会演説会、投票要項の説明の後、投票が行われました。立会演説は応援演説、立候補者演説の順序で行われ、北松西高校をさらに発展させるために必要なこと、そのことに対する自分の思いを熱く語ってくれました。

投票後、新役員が選出され、以下のような結果となりました。

会長 北村 和紀(2-1) 副会長 守山 一徳(2-1) 崎元 愛琴(1-1)



## 心に響く人生の達人セミナー

7月8日(月)視聴覚室において「心に響く人生の達人セミナー」が実施されました。講師として、本校卒業生の特別非営利活動法人 日本紛争予防センター ケニア事務所代表 筒井 博司氏をお招きし、「国際協力から見た日本そして小値賀 ～小値賀が世界へ背中を押してくれたワケ～」の演題で講話をしていただきました。当日は、沢山の地域の方々も講演を聴きに来校されました。筒井先生から、小値賀での生活や海外での活動の経験から思うことを話していただき、生徒は真剣に耳を傾けていました。



## 校内球技大会

7月18日(木)、校内球技大会(ソフトバレーボール)を実施いたしました。蒸し暑の中、生徒たちは元気なプレーを見せてくれました。結果は以下の通りです。

**優勝 3年Aチーム**

(平田樹 門田秀英 筒井尚史 藤松義匡 升水遥平 貝屋恵理 川村希)

**準優勝 3年Bチーム**

(門脇梢平 永田宏紀 松永海千郎 村田康生 護山義孝 崎山富公衛 村中夏美)



優勝・準優勝チーム



プレーの様子



## 第101回全国高等学校野球選手権長崎大会

7月11日(木)の開会式を皮切りに第101回全国高等学校野球選手権長崎大会が始まり、開幕ゲームで1回戦にのぞみました。対戦結果は次のとおりです。

1回戦 北松西 3-6 口加

チーム名	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
北松西	0	0	0	1	1	0	0	1	0	3
口加	0	0	2	0	0	2	0	2	×	6

チーム	投手	捕手	本塁打	三塁打	二塁打
北松西	門田	永田	なし	村田	なし
口加	門畑、平、新井	中村	なし	なし	白倉、岡本、中村

先日行われた全国高等学校野球選手権長崎大会では、口加高校と試合をし、3-6で敗れました。負けてはしまいましたが、全員が最後まで諦めることなく戦い抜きました。思うようにできなかった選手もいるとは思いますが、小学校から同じ11人で、最後に試合ができたことをとてもうれしく思います。今年は部員が少なく大変な事が多くありました。しかし、たくさんの人の支えのおかげで、たくさんの大会に参加できたし、不自由のない練習ができました。本当にありがとうございました。

夏一勝という形で恩返しができませんでした。地域行事に参加したり積極的に挨拶したりすることで小値賀島を盛り上げると共に、恩返しをしていきたいと思ひます。3年生は引退となりますが、高校野球で学んだことを活かして、進路実現できるよう全力で頑張っていきます。

北松西高校野球部を支えていただき本当にありがとうございました。

(主将: 3年1組 門田秀英)



## 編集後記 松のひとりごと・・・

夏休みが始まりました。皆さんはこの夏に取り組みたいことが沢山ありますか? 気温も高くなっていますから体調には十分気を付けて、充実した日々を過ごしてくださいね。

